VOL.69　　2012年8月発行（隔月発行）

新宿HAHAha倶楽部

小さな子どもを育てていると息がつまることもあります。
そして新宿で子育てなんて、と思われることも‥
でも、私たちはHAHAha と楽しく子育てしたい！
新宿のハハ達が目・耳・足で情報を集め発信します。
現在区内の児童館を中心に1,000 部配布中です。

☆メンバー募集中！☆
http://haha8.web.fc2.com/
＜ホームページが新しくなりました！＞

被災地にお手紙を送ろう プロジェクト

お手紙を書いて、切手をはって、ポストへ入れると…誰かに届くってすごいこと！
そして、手書きのお手紙は、たくさんのことを伝えます。

最近誰かにお手紙を出したことがありますか？ この「被災地にお手紙を送ろうプロジェクト」は、メールやツイッターなどが広まり、手紙文化が衰退する中、手紙の持つ良さを子どもたちに体験を通して理解してもらい、子どもたちにお手紙文化を伝えていこうというものです。日本郵便株式会社の年賀寄付金の助成を受けて実施されるもので、新宿 HAHAha 倶楽部もこの活動に全面協力しています。

「被災地の高齢者やお友達にお手紙を送ろう」のスローガンのもと、新宿の子どもたちからは被災地で一人暮らしや施設入居している高齢者へ、大人たちからは被災地の子どもたちへ、励ましのお手紙を送る以下のプロジェクトを計画しています。お手紙は相手の顔や心を思い、往信により返信があり、心を和ませ、絆を深めます。この様な手紙本来の持つ良さを子供たちに伝えていきましょう。

お手紙プロジェクト　　パート１

７/26（木）２時～４時　　会場：鶴巻小学校（早稲田鶴巻町 44）

区立鶴巻小学校の夏休み行事「わくわく講座」と鶴巻小学校で月に１回行われているサロン活動「つるまき学校サロン：わくわくクッキング」とのコラボです。参加者のお子さんは被災地気仙沼の高齢者の方に、大人は気仙沼の子供会のみなさんにお手紙を書いていただきます。
当日は送り先の住所や郵便番号の書き方など、手紙の書き方の指導もあります。参加される方ははがき１枚、または５０円切手一枚をご持参ください。

お手紙プロジェクト　　パート２

８/５（日）１時～４時　　会場：高齢者福祉施設「神楽坂」（矢来町 104）

第４回　ぷちボラカフェとのコラボです。当日はお手紙プロジェクトの他、「古切手整理」「古本交換」福祉施設に届ける「パッチワーク作り」など盛りだくさんのメニューがあります。参加費は無料です。また「バルーンアート」や「コミュニティカフェ」などのイベントもあります。この回に限り、ボランティアの方が直接被災地にお手紙をお届けしますので、切手等のお金はかかりません。お気軽にご参加ください。

今後の活動予定・・・
11 月にはクリスマスカードを、12 月には年賀状を送ろうというプロジェクトを
榎地区、箪笥地区で企画しています。詳細は追ってお知らせします。お楽しみに！！

学校選び　　私の基準

子どもが年中くらいになると、そろそろ小学校のことを考え始めますね。新宿区では地域などの制限がありますが、公立小学校も学校選択できますし、私立・国立を含めれば選べる学校はいくつかありますね。子どもが６年間通うことになる学校選びはママにとっては大切な選択です。そこで、以下には先輩ママたちの学校選びの時に重要視したポイントを紹介します。参考にしてくださいね。

新宿区の学校選択制に関しては、今年４月、新宿区教育委員会から基本方針が発表されました。来年度から人気が集中するいくつかの小学校は選択できなくなるようです。以下に学校選択制に関しての最新情報も紹介しますが、詳しくは区役所のＨＰを参考にしたり、教育委員会に問い合わせたりしてみてください。

＜小学校の場合＞

＜学校までの距離、通学路の安全を重視しました＞
指定されている小学校ではありませんでしたが、家から一番近くて、近所の子ども達が多く通っている学校に迷わず入れました。
放課後に友達と自由に約束ができて楽しい時期なので、近所に友達の家がある事は大切だと思いました。わが家にもたくさんの友達に遊びに来てもらいました。おかげさまで子どもや友達の様子もよくわかり、安心して学校生活を送る事ができました。

＜評判はあまり気にせず、家から一番近い小学校へ＞
小学校は公立を選びました。公立学校は先生の異動があるので評判が良くても、悪くても変わっていくだろうと思ったので、評判はそんなに気にしませんでした。
なにより、小さいうちは通学も心配だし、公園で思いっきり遊ぶのが好ましいと思っていたので、家から近いのを第１に選びました。おかげで、低学年の内は帰宅後また出かけて、毎日公園で遊んでいました。

＜説明会での校長先生のお話の内容で決めました＞
学校説明会での校長先生のお話が一番気になります。校長先生の話し方に信頼が持てるか、環境や特色のある授業などだけではなく、学習面での取り組みなどバランスの良い教育が行われているところがいいなあと思っています。

＜中学校の場合＞

＜選んだ中学には行かれませんでしたが・・＞
評判も良く、学校説明会の際も好印象だった中学校を選択しました。しかし、やはり人気なようで学区内だけでも相当の希望者があり、学区外から入れた人は少数でした。結局は、学区内の中学校に行く事になり少し不安が残りました。しかし、通ってみると良い面もたくさん見えてきたので、ホッとしているところです。

＜子どもがやりたい部活があるかどうか＞
中学は私立を選んだので、近さはあまり関係なく、クラブ活動や留学制度があるかなどを参考にしました。
受験は思った様にはいきませんでしたが、受けたどの学校でも良いと思っていたので、今は気持ちよく通っています。

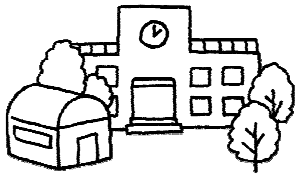
＜授業態度はどうか、学校が荒れていないか＞
学校公開に行ったとき、生徒たちの授業態度はもとより、下駄箱やロッカーなどにも注意をはらいました。荒れていると掃除が行き届かなかったりロッカーが大きくへこんでいたりすると聞きます。必ず学校へ足を運び、自分の目で確かめました。

＜いじめがあるかどうか＞
いじめがあるかどうかがやはり一番気になります。多感な時期ですから多少の喧嘩は仕方がないと思いますが、何かあった時に学校がきちんと対応してくれるか、上にお子さんがいるママ友の意見はとても参考になります。

・・・・学校選択制情報・・・・

学校選択制は、一定の地域内で通いたい学校を自由に選べる制度で、東京２３区のうち１９区が選択制を導入していますが、一部の学校に人気が集中したり、地域での子どもたちの活動が制限されたりするなどのデメリットが目立ってきたようです。そこで、杉並区では２５年度から廃止することが決定されました。

新宿区も今年４月の教育委員会の基本方針では、通学区域内の児童だけで３学級編制となりうる学校については、平成２５年度新入学時より、必要に応じて通学区域外の児童は選択できない学校として指定するようです。また、選択希望校に兄姉がいる場合における抽選時の優先取扱いも、５年間の経過措置を設けたあと廃止されるようです。



編集後記

早めの夏休みで香港に行ってきました。香港人女性のツアーガイドさんから現地の事情を聞きました。

香港の女性は結婚しても出産しても結婚前と変わらず朝早くから夜遅くまで、ずっと働き続けるのが普通なのだそうです。でも子どもを預ける保育園の制度そのものがないそうです。では一体誰が子どもを見るのでしょうか。それは住み込みのメイドさんです。お金持ちだけでなく一般家庭もメイドを雇って家事・炊事・掃除・洗濯・子守と一切合切やってもらうそうです。そのツアーガイドさんも 12 歳のお子さんがいても朝早くから夜中過ぎまで観光客の相手をしていました。

香港では日本の年金制度にあたるものがないので、女性もずっと働かなくては老後が心配なのだそうです。それを理由に子どもを産まないという夫婦も増えていて社会問題になっているそうです

日本も香港も子育ても老後の生活も心配事が多くて、安心して子育てに専念できる社会というわけにはいかないのは同じなのですね。